

DASA

DEVOPS AGILE  
SKILLS ASSOCIATION

# DASA DEVOPS プロフェッショナル: ENABLE AND SCALE (導入と拡張)

## シラバス

バージョン 1.0.1

2019年1月

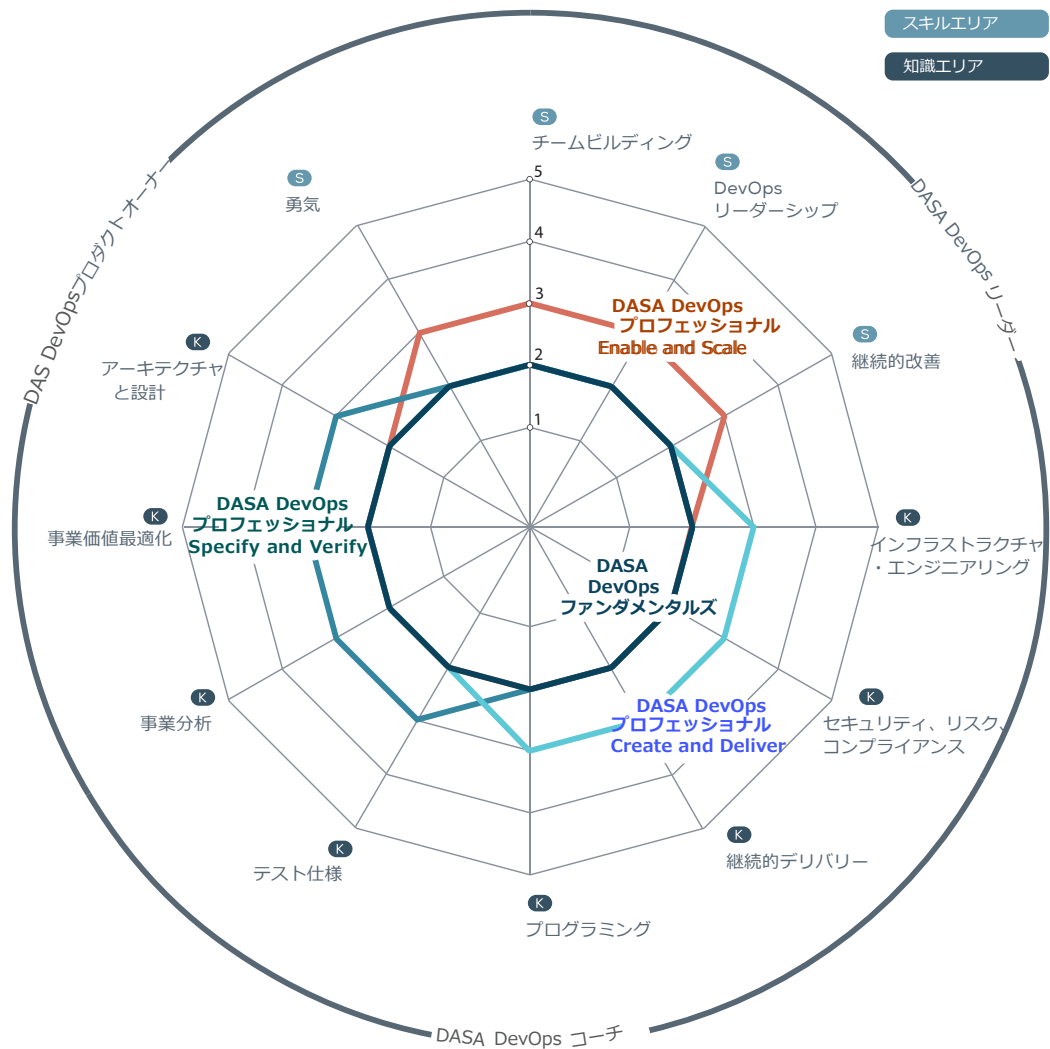
リリース	バージョン	日付
前回	1.0.0	2018年10月
現在	1.0.1	2019年1月

## 本文書の範囲と目的

本文書の目的は、DASAのDevOpsプロフェッショナル：Enable and Scale（導入と拡張）コースに関心を持つすべての関係者に、コースがカバーするエリアに関する情報を提供することです。

# DASA DevOps コンピテンスマodel

DevOps Agile Skills Association (DASA) のコンピテンスマodelでは、次の図に示す、DevOpsに関連する8つの知識エリアと4つのスキルエリアを定義しています。

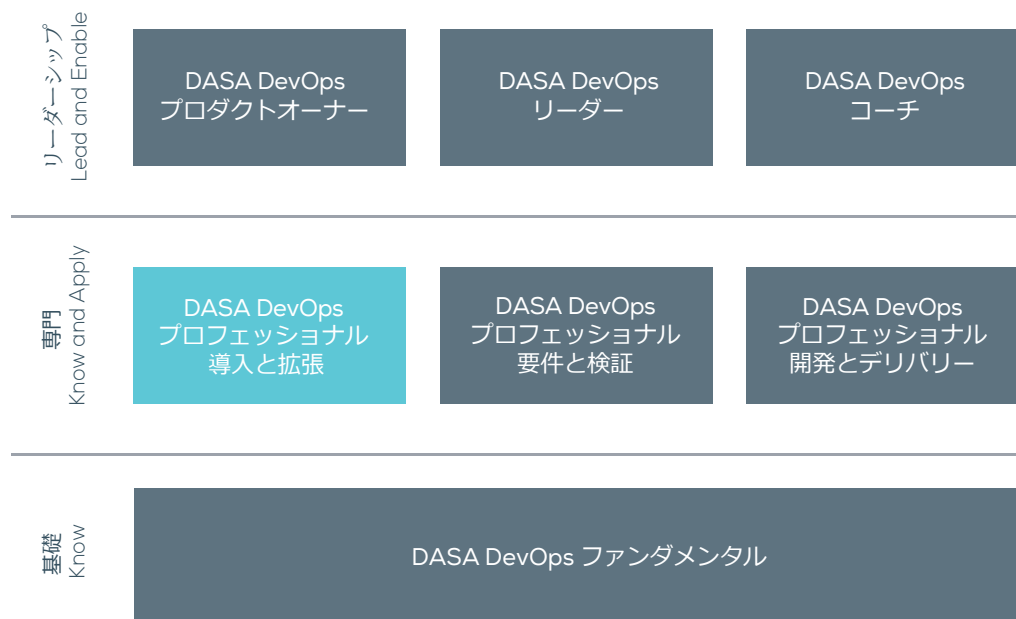


1. 入門 / 2. 初級 / 3. 中級 / 4. エキスパート / 5. マスター

DevOpsチームで働くメンバーは、8つの知識エリアすべてで初級レベルであり、4つのスキルエリアで中級レベルであることが求められます。DevOpsチームが効果的に機能するためには、メンバーが12のエリアすべてでエキスパートである必要があります。チームとしてこれらの能力すべてを獲得するために、個々のチームメンバーが特定のエリアに特化することも可能です。

## DASA DEVOPS プロフェッショナル: ENABLE AND SCALE (導入と拡張)

DASAのDevOpsファンダメンタル・コースの基礎の上に構築された2日間コースです。このDevOpsプロフェッショナル Enable and Scale が主に焦点を当てているのは、4つのスキルエリアです。これらはDASAにより定義され、DevOpsで成功するために不可欠のものです。本コースにより、なぜこの4つのスキル（勇気、チームビルディング、リーダーシップ、継続的改善）がDevOps環境にとって必須のスキルなのかを理解することができます。



DASAのDevOpsプロフェッショナル:Enable and Scale は、DevOpsの実践に移行するために必要な核となる教育を提供します。コースでは、DevOpsの理論、実用的な例と演習、およびインタラクティブなグループ・ディスカッションを通して、DevOpsを実践するための必須スキルをどのように適用するかを理解する手助けをします。

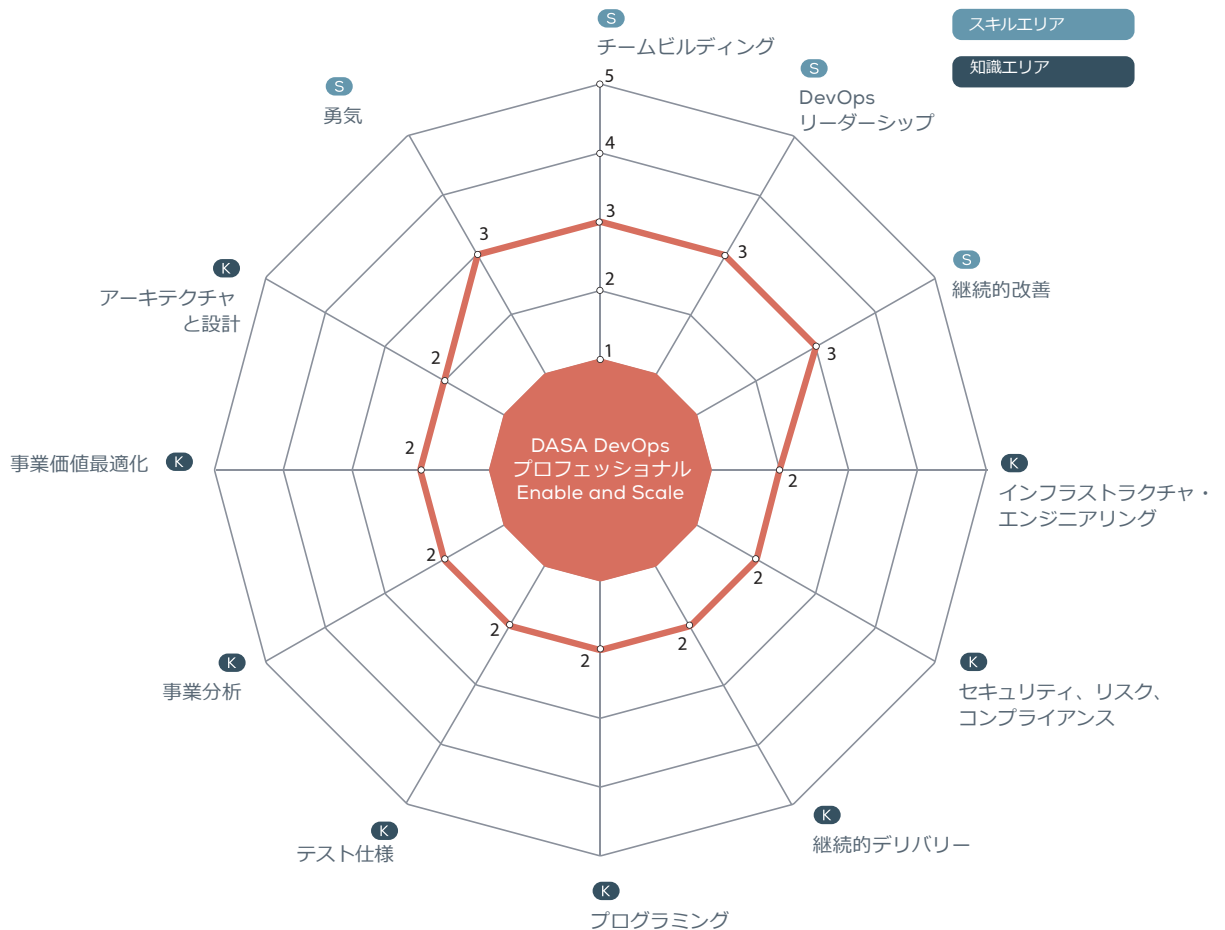
## 資格の目的

このコースで必要な知識を身に付けると、次のことが可能になります。

- DevOpsカルチャーの重要性と、カルチャーに影響する側面を説明する。
- DevOps環境において、なぜ4つのスキルエリアが必要なのかを説明する。
- 信頼、誠実さ、そして実験を可能にするのに、なぜ勇気が不可欠であるかを説明する。
- DevOps環境における、さまざまな種類の振る舞いを識別して評価する。
- 障害および／またはチームの機能不全を示すシグナルを認識する。
- 優れた開発チームを編成し、その成熟度を評価する方法を説明する。
- 幸福感とモチベーションがチームのパフォーマンスに与える影響を列挙する。
- リーダーがどのようにフィードバックと透明性を促進するかを識別する。
- 信頼を築くためにリーダーが影響を与えることのできる要素を議論する。
- リーダーが、どのように、なぜ「安全に失敗できる」環境を促進するかを説明する。
- バリューストリームを分析し、スループットとフローを向上させる。
- 継続的改善のツールの利用を促進する：構造化された問題解決ワークショップ、ストーリーマッピング・セッション、そしてレトロスペクティブ。

## DevOpsプロフェッショナル:Enable and Scale（導入と拡張）は、どのようにDASAのコンピテンスフレームワーク中に位置付けられるか？

このコースを修了すると、以下のDASA認定スキームの図において、DASA DevOpsプロフェッショナル Enable and Scaleとしてマークされているエリアをカバーできるようになります。その結果、コンピテンスフレームワークの「中級（Proficient）」レベルに到達できます。



1. 入門 / 2. 初級 / 3. 中級 / 4. エキスパート / 5. マスター

## 対象者

DevOpsプロフェッショナル：Enable and Scaleの資格は、主に以下のような方々を対象としています。

- ・ IT開発、IT運用、ITサービスマネジメントに携わる方
- ・ 以下のような、DevOpsや継続的デリバリーに関わる役割を持った方：
  - ◇ DevOpsエンジニア
  - ◇ プロダクトオーナー
  - ◇ インテグレーション・スペシャリスト
  - ◇ 運用マネージャー
  - ◇ インシデントマネージャーおよび変更マネージャー
  - ◇ システム管理者
  - ◇ ネットワーク管理者
  - ◇ ビジネスマネージャー
  - ◇ オートメーション・アーキテクト
  - ◇ エンタープライズ・アーキテクト

## コース受講要件

**必須**：DASAのDevOpsファンダメンタルの資格

アジャイル、スクラム、リーン、ITSMの原則に関する基本的な理解があると役立ちます。

## 認定要件

DASA DevOps プロフェッショナル：Enable and Scaleの試験に合格するとDASAから認定を受けます。



## 試験の詳細

DASA のDevOps プロフェッショナル： Enable and Scale 試験の形式:

### 試験形式：

- 資料持ち込み付加
- Webベース
- メモ用紙の持参は可能

### 問題：

- 多肢選択式問題12問

### 合格点：

- 60%(60点中36点の正解)

### 試験時間：

- 45分
- 日本語を母語としない方には15分の追加時間あり

## 学習成果

認定や教育の評価方法の設計の際に広く用いられている分類法が「ブルームによる教育目標の分類体系（Bloom's Taxonomy of Educational Objectives）」です。学習目標を習得レベルに応じて6つの段階に分類し、各段階に必要な能力と技量が定義されています。（Bloom et al, 1956, Taxonomy of Educational Objectives）

この体系化手法は、以下を徹底するのに役立ちます：

- 資格レベルに応じてどのように学習コンテンツを変えるべきかが明確になる
- 学習指導のすべての領域で一貫性のある学習成果定義ができる
- 試験問題および資料の一貫性が保たれ、レベルの違いに合わせた難易度で作成できる

プロフェッショナル認定試験では、（ブルームが定義した）レベル1（知識）、レベル2（理解）、レベル3（応用）の学習成果が評価されます。

DASA DevOps プロフェッショナルの学習成果				
	1 知識	2 理解	3 応用	4 分析
学習成果の一般的定義	マニュアルや講義に出てくる主要な事実、用語、概念の知識を知っている。	マニュアルや講義に出てくる主要な概念を理解できている。	与えられたシナリオに対して、該当するシラバス領域の主要概念を応用できる。	与えられたシナリオが示す状況に対して、方法や講義内容の応用が適切か不適切を分析し、判別できる。
資格認定の学習成果	DASA DevOps プロフェッショナル：Enable and Scale のカリキュラムで説明された用語、概念、原則、ツール、手法を含んだ事実を知っている。	DevOpsの概念、原則、側面を理解し、どのようにこれらを適用するかを説明できる。		

# シラバスエリア

## イントロダクション

このモジュールでは受講者に、概要、資格、時間割などコースについて知らせます。

## チームビルディング

チームビルディングでは、他の人の視点、コラボレーション、相互の説明責任、共通の目的、サービス/プロダクトを総合的に支援する能力を理解することを目的とします。

### チームの設計:

- DevOpsチームの特徴
- DevOpsチームのスキル
- 自己組織化と自律性
- DevOpsチームを設計する際に考慮すべきルール

### チームの構築:

- 幸福感とモチベーションがパフォーマンスに与える影響
- フィードバック
- ハイ・パフォーマンスチームを創ること

### ガバナンス:

- チーム内のガバナンス
- 複数のチーム間のガバナンス
- 組織間のガバナンス
- DevOpsと契約

## DevOpsリーダーシップ

このモジュールでは、チームのハイ・パフォーマンス、DevOpsの振る舞い、透明性、サービスライフサイクルのマインドセットを、どのように促進するのか、について説明します。

### カルチャーを構築する：

- 適切な環境をつくる
- ビジョンと目的を与える
- 適切な振る舞いをシミュレーションする
- サーバント型リーダーシップ：コントロール権を与える
- サーバント型リーダーシップ：支援しインスパイアする

### 目的を策定する：

- 目的を定義し、調整する
- 目的を持つことの目的
- 調整 VS 自律

### サーバントリーダーであれ：

- コントロール権をチームに与える
- チームをインスパイアし、支援する

### 成功に焦点を当てる：

- アウトプット VS 成果
- 測定することと方向付けすること

## 勇気

勇気の本質は、勇気ある振る舞いのコーチング、プロアクティブであること、反省、信頼、オープンな議論、実験、早く失敗すること、そして変化させる勇気、について説明します。

### 勇気を育成する：

- 勇気的重要性
- 実験との関係における勇気
- 勇気との関係における信頼
- レジリエンス；予想外のことに備えておく
- リーダーシップとフィードバックとの関係における勇気
- チームレベルの勇気を可能にする
- 失敗に対処する

### Think Different（異なる考え方を）：

- 日常的な勇気
- クリティカル・シンキングを促進する
- 自分のコンフォート・ゾーンから出る
- 勇気ある振る舞いを促進する手法

## 価値中心・顧客中心の行動

このモジュールでは、すべての関連する利害関係者が必要とし、期待している価値を識別し、提供することに関する、不可欠な側面について説明します。

### 価値の側面と期待の管理：

- ・ 価値のさまざまな側面
- ・ 利害関係者管理
- ・ 顧客とのコラボレーションと顧客のフィードバックの活用

### 価値と優先度付け：

- ・ 優先度付けの方法

## 継続的改善

継続的改善は、カイゼン（Kaizen）のマインドセット、源流管理、「最初から正しく」、知識の共有、適用する能力の重要性を説明します。

### フローを作る：

- ・ フローの重要性を理解する
- ・ リーンを使用してフローを最適化する
- ・ マインドセットとしてのカイゼン
- ・ 急激な変革 VS カイゼン
- ・ プル型を使用してフローを最適化する

### 継続的改善のツール：

- ・ カイゼンイベント
- ・ バリューストリームマッピング
- ・ ビジュアルマネージメント
- ・ レトロスペクティブ
- ・ 朝会
- ・ なぜなぜ5回



© 2019 - DevOps Agile Skills Association

All rights reserved. No part of this publication may be published, reproduced, copied or stored in a data processing system or circulated in any form by print, photo print, microfilm or any other means without written permission by DASA

[www.devopsagileskills.org](http://www.devopsagileskills.org)